

「多変量解析を用いたマインドフルネス療法の長期効果 の分析」に対するご協力のお願い

研究責任者 佐渡 充洋
研究機関名 慶應義塾大学
(所属) 保健管理センター

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2020年1月より2022年1月までの間に、慶應義塾大学医学部精神神経科・マインドフルネス&ストレス研究センターが行った研究、『マインドフルネス認知療法の follow-up engagement program の feasibility study (RCT)による維持効果および費用対効果の検証』に参加された方

2 研究課題名

承認番号 20251106

研究課題名 『多変量解析を用いたマインドフルネス療法の長期効果の分析』

3 研究組織

研究代表機関

保健管理センター

研究責任者

教授 佐渡 充洋

既存試料・情報の提供機関

保健管理センター

機関の長

教授 佐渡 充洋

4 本研究の目的、方法

マインドフルネス教室で得られたアンケート結果を解析することで、マインドフルネス介入の長期的な効果の予測因子などを明らかにすることが目的の研究です。効果の予測因子などが明らかにな

れば、今後より効果の高いマインドフルネス介入を、より効率的に社会に広げていくことが可能となります。

5 協力をお願いする内容

皆様に直接的にご協力いただくことはありません。

マインドフルネス教室実施時に答えていただいたアンケートの結果を用いて、データの解析を実施致します。今回の研究で用いるのは個人を特定する情報が切り離されたデータセットのみとなりますので、個人情報の流出等のリスクはございません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

特になし

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、データ利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

二宮 朗 慶應義塾大学マインドフルネス&ストレス研究センター

連絡先：03-5363-3971 （対応可能時間：平日 9 時～17 時）

以上